

松葉園 ~リハビリ通信~ 平成28年10月号

松葉園では、理学療法士常勤1名体制で、利用者様や入居者さまの身体や生活を支援しています。

今月のリハビリ風景

皆さん、真剣に体操をしています！

常勤1名体制ですが、利用者様のご要望に答えられるように勤めます。また、楽しんで体を動かしていただくよう心がけています(市川)



自転車をこいで、普段の運動不足を解消中！
ダイエット効果も期待できるかな。



リハビリ小話 認知症シリーズ①

今回は、認知症の方の在宅介護における便利グッズを紹介します。認知症の介護で困ることといえば、徘徊や何度も同じことを聞かれるなど、様々なことが挙げられます。その中でも、商品化されているものをいくつか紹介します。

★ホワイトボード
使い方は無限です。その日の予定や時間を書いたり、何度も聞かれる事柄と答えを書いておくのも良し！ポイントとは、本人が必ず見る位置に設置することです。ノートと違って、開かなくても視界に入ってくれるので、見ることを忘れる心配ありません。

★電波時計
認知症の方は、日にちや時間が分からなくなります。私は、リハビリの仕事をしてはいますが、利用者様から一日に何度も日にちを聞かれます。そこで役立つのは、電波時計です。認知症の方では、徐々にアナログの時計が読めなくなりしますので、文字の大きい電波時計が望ましいです。

★センサーや防犯ビデオ、GPSなど
24時間365日、認知症の方を見守るのは非常に大変です。介護者が同じ家の中にいても、トイレや睡眠中に外へ出てしまうこともあります。テレビ電話や防犯ビデオは表情や声まで把握できますし、外に出ただけを知りたいのであれば、センサーを利用してもいいでしょう。また、どこにいるのか把握できるGPSでは、靴に収納できる商品もありますので、徘徊の際に靴を履く認知症の方には有効です。

